

mipox

第94期 ビジネスレポート

2023年4月1日～2024年3月31日

「塗る・切る・磨く」で新しい価値を探し、未来をつくる

Q コロナ禍も一段落しました。Mipox (マイボックス) の事業環境に変化は見られますか。

A 当期は残念ながら当初の計画値を下回る結果となりました。パソコンやタブレット製品などの電子デバイス市場やデータセンター向け投資の抑制が顕著となり、結果として当社の業績も伸び悩みことになりました。

コロナ禍では当初、サプライチェーンの混乱によって、自動車やスマートフォン用の半導体が各地で品不足となりました。一方、人々の外出が敬遠され、企業ではテレワークやWeb会議が推奨され、その影響もあってパソコンのデータを保存するためストレージの容量を増やしたり、データセンターへの設備投資が広がりました。そうした動きに半導体関連業界も反応し、生産を伸ばして過剰な在庫を抱えることになりました。

2022年から2023年の年初にかけて世界のデジタル化の旗振り役ともいえるGAFAMを筆頭とするビッグテック（超巨大IT企業）でリストラの嵐が吹き荒れました。好調が続いたデジタル化のうねりにも調整期が必要となったのです。

Q 製品事業と受託事業で特徴的な動きがありましたらお聞かせください。

A 当社グループは、ハイテク関連製品や一般研磨製品を取り扱う「製品事業」と、研磨、塗布・スリット業務を代行する「受託事業」という2つのくくりで事業を行っています。

製品事業は、期初からハードディスク関連および半導体関連市場の低迷が予想されましたが、これらの用途向けは上期を底として回復傾向にあり、弱含みながら回復の途上にあります。また光ファイバー関連市場においても、顧客の在庫調整が一巡し、下期から回復傾向が見られます。製品用途は全般的に底堅い需要があり、引き続き売上高は安定的に推移するものと期待しています。この間、原材料やエネルギー価格が高騰しており、顧客の理解を得て各種製品の値上げに努めています。

受託事業については、市場そのものが調整の段階を迎えていたこともあり、既存の受託研磨、受託塗布・スリット案件の売上が減少傾向にありました。もともと私どもから顧客に提案して仕事を受注するという開発提案型のビジネススタイルですから、こうした時期であっても“次の種をまく”提案を続け、新規顧客の試作件数が着実に増えていきます。来期以降の量の獲得や新たな用途向けの拡大が期待されます。

当社が独自に行う情報発信も重要になっています。「塗る・切る・

磨く」に関する最新の尖った情報をお届けする専門メディア「研磨ラボ」や画像処理分野の世界最大の国際学会であるICPTでの露出を通じ、海外顧客からの認知度向上と新規の受託先開拓に努めています。

Q 事業の本拠地を栃木県鹿沼市に移転しました。この決断は満足のものだったでしょうか。

A 栃木県鹿沼市に新工場を建設して2年、昨年6月には本社機能も同地に移転しました。これまで全く縁のなかった地域だけに、当初は多少の不安もありましたが、現地採用の従業員の皆さんが当社の社風にいち早く順応し、のびのびと働いてくれています。

鹿沼工場には、北杜工場（山梨）から製品事業と受託事業の一部を移管したほか、タイ工場から受託事業を、京都工場からも再帰性反射材「Ref Lite (レフライト)」の生産を移管しています。受託事業の生産拠点は、山梨北杜工場と栃木鹿沼工場の2拠点体制となり、生産能力が増強されただけでなく、災害時などのBCP（事業継続計画）対応によるリスク分散が図られます。

昨年10月には、鹿沼市からクルマで20分ほどの宇都宮市に位置する大久保鉄工所を企業買収しました。平面ロータリー研磨や両頭研磨技術を駆使し、金属パーツの精密研磨加工を専門とする企業ですが、今後は自動車、医療、3Dプリンター向けの部品研磨で受託研磨を担います。事業領域の拡大で、より多角的な受託研磨事業の展開が期待されます。

当社が栃木県に本社機能を移したことにより、昨年末、栃木県を拠点とする足利銀行からPIF（ポジティブ・インパクト・ファイナンス）を受けることになりました。これは国連の補助機関である国連環境計画（UNEP）と金融機関の自主的な協定に基づく組織が、地域事業者のサステナビリティ経営と企業価値向上に貢献し、持続可能な社会の実現を目指す企業に向けたもので、当社が評価され融資が実現しました。

栃木県への移転の効果は当初の計画をはるかに超えています。

Q 株式市場の活況が続いています。理由の1つに半導体関連への期待があげられていますが、マイボックスは今後どのような成長戦略を描かれますか。

A デジタル技術の活用によって事業そのものを変革し、競争の優位性を確保するDX（デジタルトランスフォーメーション）への期待値が高まっています。今後、クルマの自動運転や生成AIなどへの活用も広がり、半導体には底堅い需要が期待されます。台湾TSMCの熊本進出、ラピダスの北海道千歳工場などの大型投資も話題となっ

ています。

デジタル化の進化には半導体の超精密高精細の加工が必要とされ、「塗る・切る・磨く」が欠かせないものとなっています。

今後、当社は①製品・受託事業領域の拡張 ②鹿沼事業所の量産体制構築 ③NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）との産官学プロジェクトへの参画により、他に先んじた技術力を手にしたいと考えています。

NEDOの「グリーンイノベーション基金事業/次世代デジタルインフラの構築」では、「次世代パワー半導体に用いるウェーハ技術の開発」をテーマに産官学の研究プロジェクトに参加していますが、2024年2月にステージゲート審査を通過し、継続することが決定しました。これにより2030年までに次世代パワー半導体向けの超高品質8インチSiC（炭化ケイ素）ウェーハの社会実装に向けて確かな一歩を踏み出しています。

この1年では、昨年3月に櫛スガ コーティングスから譲り受けた「IH（高周波誘導加熱）を活用した粉体塗装事業」を鹿沼工場に導入し、実証実験ラボを本格稼働しています。自動車工場では、ガス熱風乾燥炉を用いた塗装工程におけるCO₂排出量が工場全体の約4分の1にもなります。塗装工程をIHを利用した電気加熱方式であるIH粉体塗装システムに置き換えれば、省エネ、省スペース、脱炭素を実現し、環境配慮に適した塗装工程ラインを実現します。

また、このほどインド現地子会社から新たな製品づくりに挑戦したいとの提案があり、新しい工場用地と建物を取得しました。橋梁や建設関連向け研磨製品の開発と生産を進める計画で、一般研磨製品の需要の拡大に努めます。旧工場に比べると2倍以上の広さとなります。

Q マイボックスは、まもなく創業100年の節目を迎えます。将来に備えてどのような企業像を目指しますか。

A 当社は2年後の2026年に「創業100年」を迎えます。これを機に、次の100年を切りひらく、未来のマイボックス像はどうあるべきか、あらためてコーポレートブランディングの再構築を進めています。

「塗る・切る・磨く」のソリューションに新たな価値を探りつつ、社会やお客様が求める課題解決に貢献できる“技術と経験値”を備えた企業グループを目指さなければなりません。

ただ、100年を迎えるとはいえ、ベンチャー魂は忘れてはなりません。一人ひとりが挑戦と切磋琢磨を忘れることなく、貪欲に成長を引き寄せたいと考えています。引き続き、株主の皆様のご支援をよろしく願い申し上げます。



代表取締役社長 渡邊 淳

第94期 業績サマリー

売上高	9,354百万円
営業利益	△442百万円
経常利益	△186百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△408百万円
1株当たり当期純利益	△28.70円
1株当たり純資産	525.59円
自己資本当期純利益率 (ROE)	△5.3%

インド工場の動き

2023年11月23日、海外子会社であるMIPOX Abrasives India Pvt. Ltd.にて新工場用地および建物を取得し、移転いたしました。

これまでの工場では、事業拡大に伴う生産能力の増強が難しい状況でしたが、新たに取得した工場は現工場に比べて2倍以上の広さとなります。

福山事業所から一部製造ラインの移設を予定しております。



環境への取り組み (太陽光パネル)

2023年2月に太陽光パネルを増設した北杜事業所に続き、福山事業所にも設備を導入いたしました。

再生可能エネルギー源の利用により、電力コストの削減、CO₂排出の削減を実現し、長期的な環境配慮を考慮した経営を推進してまいります。



鹿沼事業所集約、NEDO[※]採択事業の設備の導入完了

2023年4月に移転した鹿沼事業所への業務集約は京都工場から反射材事業の移設、株式会社スガ コーディングスより事業譲渡を受けた粉体塗装事業の製造環境を整備いたしました。近隣にはM&Aを実施した有限会社大久保鉄工所があり、これにより鹿沼事業所は重要な拠点となりました。

NEDOより採択を受けた研究開発環境に関わる機械設備の導入も完了いたしました。



※NEDO= 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

事業領域拡張について

【大久保鉄工所の取り組み】

2023年10月、金属パーツの精密研磨加工を専門とする、有限会社大久保鉄工所の全株式を取得し、子会社化いたしました。

これまでの研磨加工サービスにおいてハイテク分野のみの対応から、自動車部品や医療機器などの一般研磨分野の参入も可能となりました。

今後は人員補充と設備増強を予定しております。



【IH (高周波誘導加熱) 粉体塗装事業への取り組み】

2023年3月、株式会社スガ コーディングスのコーティング事業を譲り受けました。IHを活用したコーティングラインの企画・設計・開発・販売を展開し、溶剤不使用のコーティング技術の導入支援を行っています。

この技術は有機溶剤による従業員の健康被害や環境汚染などの課題解決のソリューションとなり得るものです。2023年10月に実証実験ラボの開設を機に、引き続き受注活動に注力してまいります。



粉体塗装技術の活用

粉体塗装技術を活かした研磨製品の製造開発にも取り組んでいます。

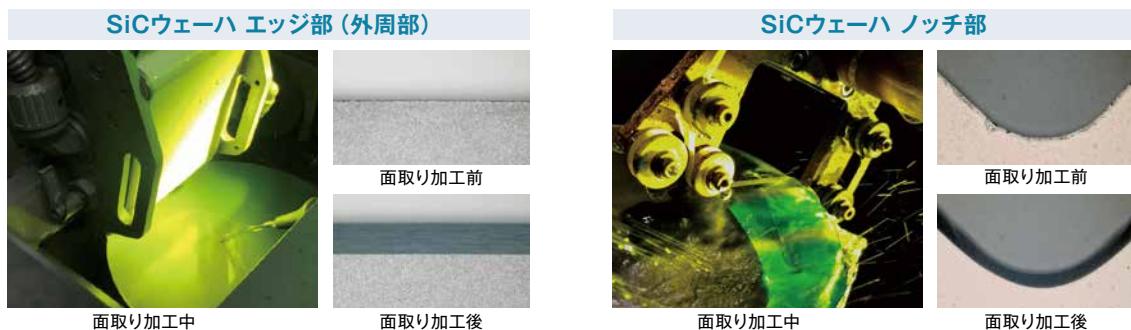
粉体塗装技術で製造した研磨製品▶



新製品「SiC（炭化ケイ素）8インチ半導体ウェーハ専用研磨装置」の販売を開始

精密研磨分野で培ってきた強みを活かし、受託研磨加工サービスを強化する一環として、SiC8インチ半導体ウェーハのノッチ/外周に特化した専用仕様の研磨装置を開発し、Mipoxの研磨フィルムを使用することで安定した面取り加工を施せる工法を確立いたしました。

国内外に問わず引き合いが急増しているSiC8インチ半導体ウェーハの安定供給に貢献し、SiC8インチ半導体ウェーハのニーズにお応えしてまいります。

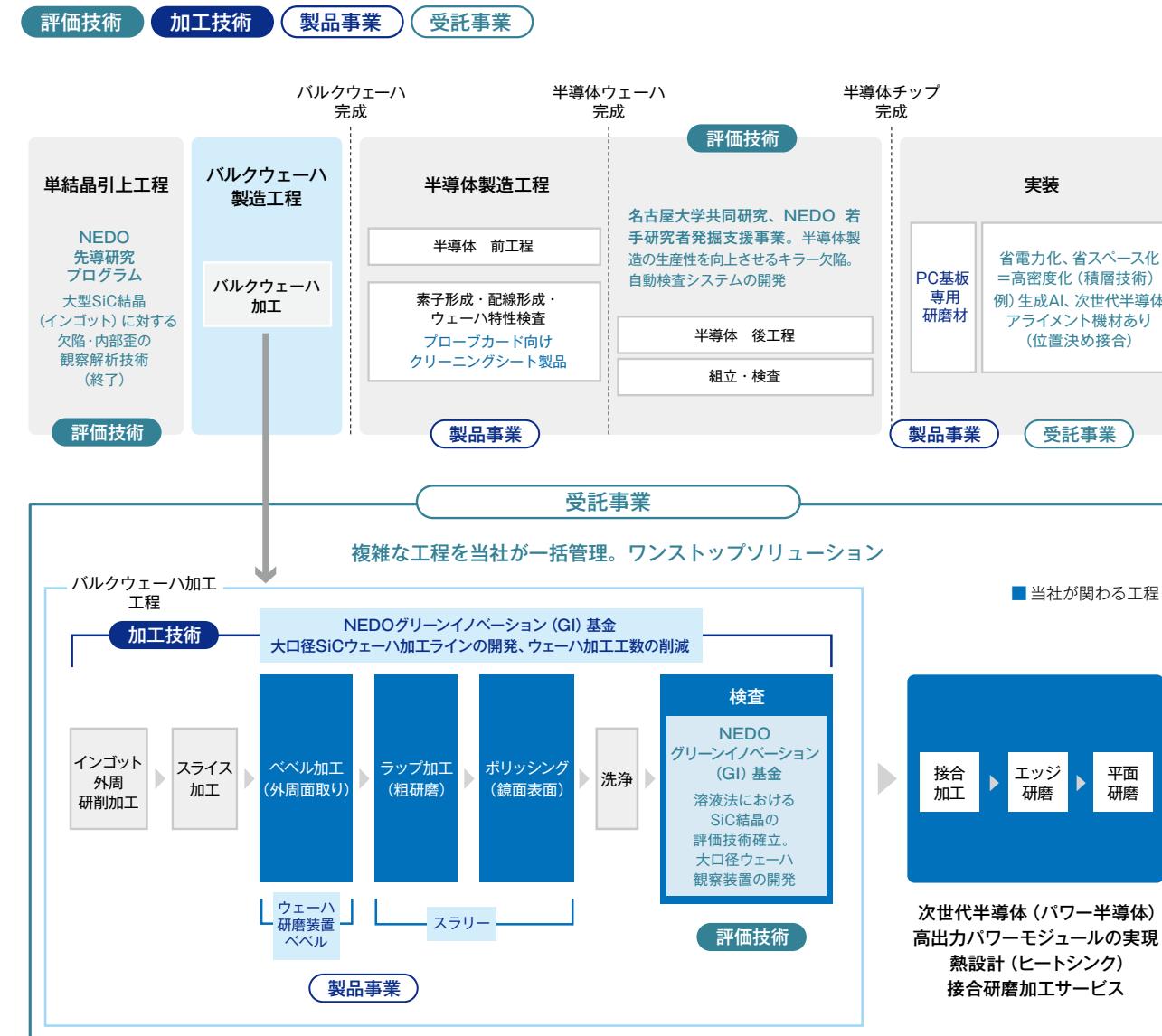


次世代半導体プロジェクト（当社参画のプロジェクト一覧）

- 3つのNEDOプロジェクトに参画しております（うち1プロジェクトはすでに終了）。
- 加工技術と評価技術の確立においてさまざまな組織と協力し、国主導のプロジェクトを進めております。

PROJECT	事業名	参画機関	概要
01	NEDOグリーンイノベーション基金事業 一次世代デジタルインフラの構築	オキサイドを幹事会社として株式会社UJ-Crystal、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学、アイクリスタル株、国立研究開発法人産業技術総合研究所が参画	<ul style="list-style-type: none"> ● 最初の2年の委託事業を当初想定通りの成果で終了し、本年度から助成期間に移行 ● 今期はパイロットライン各装置の立上げ・工数削減・シミュレーション技術の構築を目指し、検査装置の量産化検討を実施
	加工技術 大口径SiCウェーハ加工ラインの開発		8インチ対応SiCウェーハ加工、パイロットラインの構築
	評価技術 溶液法におけるSiC結晶の評価技術確立		溶液法SiCに適した光学系の最適化とそれに基づく装置設計
	加工技術 ウェーハ加工工数の削減		加工シミュレーションの検討と削減工程候補の抽出
	評価技術 大口径ウェーハ観察装置の開発		8インチウェーハに対応した装置使用の検討と設計
02	NEDO官民による若手研究者発掘支援事業	名古屋大学（原田俊太准教授）	<ul style="list-style-type: none"> ● デバイスメーカーとの連携によりデバイス不良との相関を確認し、デバイスキラ欠陥検出もしくはウェーハ品質スクリーニングが可能な量産装置の構築を目指す
	評価技術 半導体製造の生産性を向上させるキラ欠陥/自動検査システムの開発		2023年8月論文発表
03	NEDOマテリアル革新技術先導研究プログラム	電力中央研究所・名古屋大学（宇治原徹教授）・理化学研究所	2022年度末に終了
	評価技術 大型SiC結晶に対する欠陥・内部歪の観察解析技術		SiCインゴット検査装置の開発

半導体サプライチェーンにおける当社の技術と事業区分



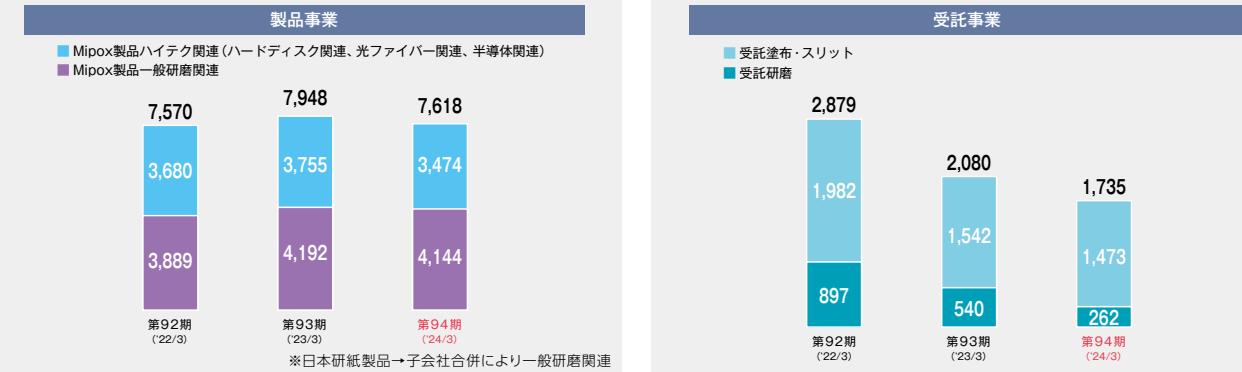
連結損益計算書の概要



POINT

当連結会計年度上半期は前連結会計年度下期から継続していた主要な顧客マーケットである半導体、ハードディスク、光ファイバー関連市場の低迷により、売上高および各段階利益が減少しました。一方、当連結会計年度下半期に顧客の在庫調整の一巡等もあり、回復基調に移行しハイテク関連製品の売上高は増加傾向にあります。その結果、当連結会計年度における当社グループの業績は売上高93億54百万円（前年同期比6.7%減）、営業損失は4億42百万円（前年同期は営業利益2億12百万円）、経常損失は1億86百万円（前年同期は経常利益4億26百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は4億8百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益45百万円）となりました。

セグメント別売上高 (単位：百万円)



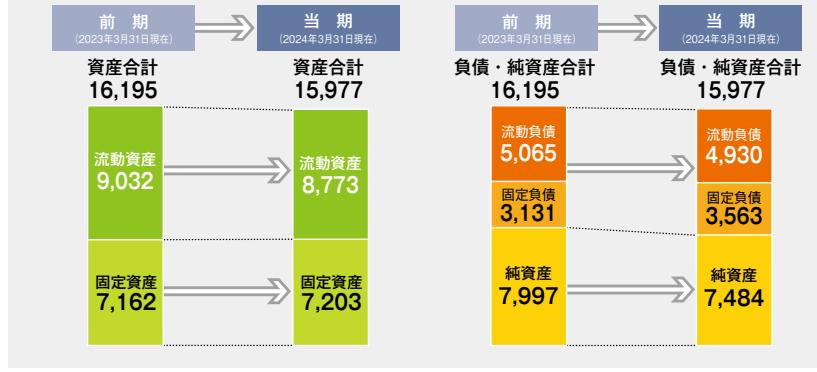
POINT

一般研磨関連製品は、安定的な推移の売上を継続している一方、ハイテク関連製品は、上半期は光ファイバー用途、ハードディスク用途、半導体用途それぞれが低調となりました。下半期から回復基調にありますが、上半期における減収の影響が大きく、その結果、売上高76億18百万円（前年同期比4.2%減）の減収となりました。

POINT

受託塗布・スリットは、PCやタブレット、スマートフォン等のエレクトロニクス製品の世界的な需要動向や対象エンド製品の需要等の影響もあり減少傾向にあります。受託研磨は、先端材料の加工等の受注が増加しているものの、期初にて想定していた受託案件の減少等の影響もあり、その結果、売上高は、17億35百万円（前年同期比16.6%減）の減収となりました。

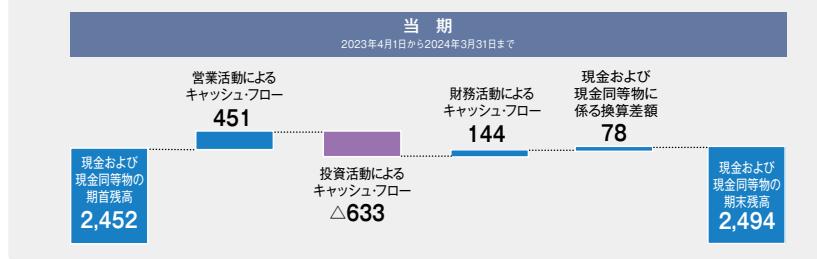
連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



POINT

資産は、受取手形の減少、仕掛品の減少、その他流動資産の減少等により、前期に比べ2億17百万円の減少となりました。負債は、1年内返済予定の長期借入金の増加、長期借入金の増加、繰延税金負債の増加等により、前期に比べ2億95百万円の増加となりました。純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益、配当金の支払による利益剰余金の減少により、5億13百万円の減少となりました。

連結キャッシュ・フローの概要 (単位：百万円)

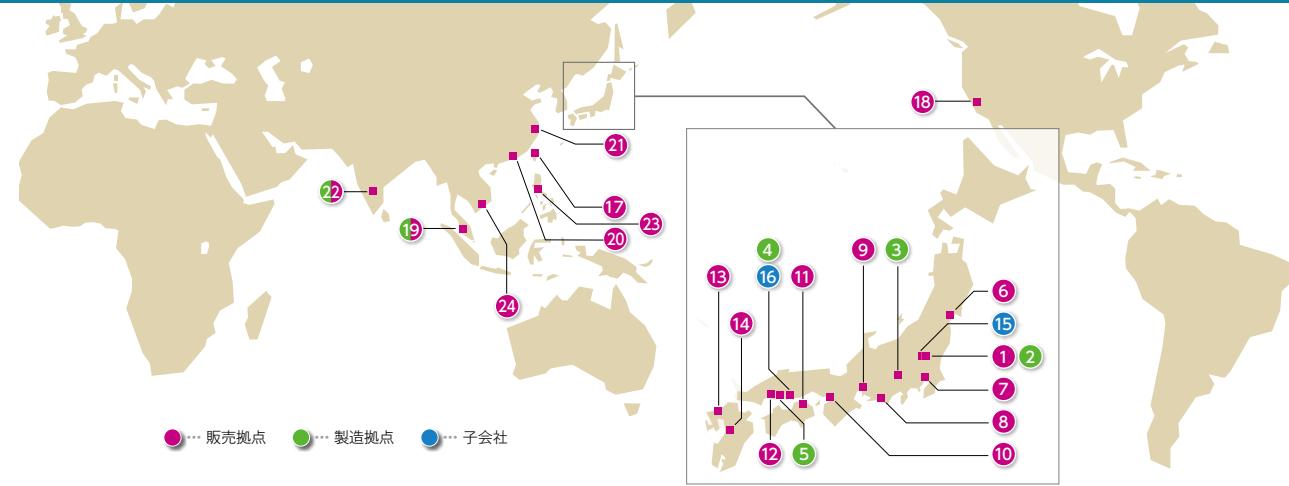


POINT

営業活動によるキャッシュ・フローは棚卸資産の減少による増加、未収入金の減少による増加等により、4億51百万円の増加となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出等により6億33百万円の減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入れによる収入等により1億44百万円の増加となりました。以上の結果、現金および現金同等物の期末残高は、前期に比べ41百万円の増加となりました。

当社の事業と製品





● 販売拠点 ● 製造拠点 ● 子会社

会社情報 (2024年4月1日現在)

● 会社概要

商号 Mipox株式会社
 創業 1925年11月21日
 代表者 代表取締役社長 渡邊 淳
 資本金 33億7,956万円
 所在地 〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町18
 事業内容 ①研磨関連製品の製造販売
 ②研磨関連材料ならびに研磨関連機器の製造販売
 ③研磨加工業務およびそのコンサルタント業務
 ④機能性フィルムの製造販売
 ⑤コンバーティング業務の請負
 ⑥機能性材料製造に利用される「塗る」・「切る」・「磨く」に関連した製品製造、受託製造、コンサルタント業務などの一切の業務

株式情報 (2024年3月末現在)

発行可能株式総数 42,780,000株
 発行済株式の総数 14,451,920株
 (自己株式 189,432株を含む)
 株主数 9,887名
 大株主

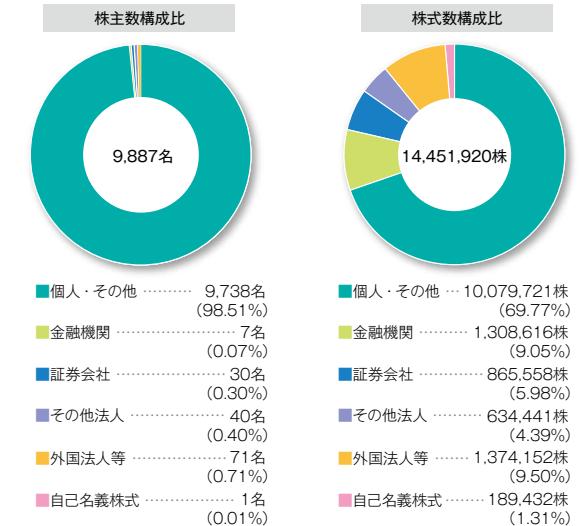
株主名	持株数	持株比率
1 渡邊 淳	653,000株	4.58%
2 INTESA SANPAOLO SPA (EX BANCA INTESA) CLIENTS OMNIBUS ACCOUNT	560,000株	3.93%
3 SIX SIS AG FOR ALBERTO BIFFIGNANDI	510,000株	3.58%
4 株式会社みずほ銀行	460,416株	3.23%
5 ジェイマネジメント株式会社	320,000株	2.24%
6 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	318,800株	2.24%
7 東京海上日動火災保険株式会社	264,000株	1.85%
8 株式会社SBI証券	213,018株	1.49%
9 渡邊 靖 郎	196,760株	1.38%
10 J P モルガン証券株式会社	183,099株	1.28%

(注) 1. 当社は自己株式189,432株を保有しておりますが、上記には含めておりません。
 2. 持株比率は、自己株式(189,432株)を控除して計算しております。

● 役員 (2024年6月25日現在)

取締役 代表取締役社長 渡邊 淳
 取締役執行役員 中川 健二
 取締役執行役員 上谷 宗久
 社外取締役 長井 正和
 社外取締役 加藤 洋美
 監査役 常勤監査役 伊東 知裕
 社外監査役 南出 浩一
 社外監査役 厨川 常元

● 株式分布状況



国内拠点

- 1 Mipox株式会社
 創業 1925年11月21日
 代表者 代表取締役社長 渡邊 淳
 資本金 33億7,956万円 (2024年3月31日現在)
 所在地 〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町18
- 2 工場 鹿沼事業所 (栃木県鹿沼市さつき町18)
- 3 工場 北杜事業所 (山梨県北杜市大泉町西井出8566)
- 4 工場 福山事業所 (広島県福山市草戸町3-13-25)
- 5 工場 呉ベース (広島県呉市仁方棧橋通1511番65)
- 6 営業所 仙台サテライト
- 7 営業所 東京オフィス
- 8 営業所 浜松サテライト
- 9 営業所 名古屋オフィス
- 10 営業所 大阪オフィス
- 11 営業所 高松オフィス
- 12 営業所 広島オフィス
- 13 営業所 福岡オフィス
- 14 営業所 熊本サテライト
- 15 子会社 有限会社大久保鉄工所 (栃木県宇都宮市瑞穂3-6-13)
- 16 子会社 ミスミ化学株式会社 (広島県福山市草戸町3-13-25)



本社

海外拠点

- 17 Mipox Corporation Taiwan Representative Office (MIT)
 設立 2014年1月28日
 所在地 2F.-6, No.231, Fuxing 2nd Rd., Zhubei City, Hsinchu County 302, Taiwan
- 18 MIPOX International Corporation (MIC)
 設立 1989年11月1日
 所在地 1730 S. Amphlett Blvd, Suite 105, San Mateo, California 94402 U.S.A
- 19 MIPOX Malaysia Sdn. Bhd. (MMS)
 設立 1997年8月9日
 所在地 No.7&9, Lintang Bayan Lepas 2, Bayan Lepas Industrial Park Phase 4, 11900 Bayan Lepas, Penang, Malaysia
- 20 MIPOX (Shanghai) Trading Co., Ltd. SHENZHEN BRANCH
 設立 2005年8月29日
 所在地 1426, 14/F, Times Financial Centre, No.4001 Shennan Avenue, Futian District Shenzhen 518046 P.R. China
- 21 MIPOX (Shanghai) Trading Co., Ltd. (MST)
 設立 2012年2月7日
 所在地 Room 1609, 16th Floor, 688 Nanjing West Road, Jing'an District, Shanghai, China 200041
- 22 MIPOX Abrasives India Pvt. Ltd. (MAI)
 設立 2012年7月20日
 所在地 Plot 102-A Somapura Industrial Area, Nelamangala Taluk, Bengaluru-562132 Karnataka, India
- 23 MIPOX Malaysia Sdn. Bhd. Philippine Representative Office
 設立 2013年12月13日
 所在地 Unit 1206, 12/F The Trade & Financial Tower, 32Nd St. Cor. 7th Avenue., Bonifacio Global City, Taguig City 1634, Philippines
- 24 The Representative Office of MIPOX Malaysia Sdn. Bhd. in Ho Chi Minh City
 設立 2016年10月17日
 所在地 Fl.2, Ha Do Airport Building - 02 Hong Ha St., Tan Binh Dist, Ho Chi Minh City, Vietnam

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで	
剰余金の配当の基準日	期末配当金 毎年3月末日 中間配当をする場合は、毎年9月末日	
定時株主総会	毎年6月開催	
公告方法	電子公告（ https://www.mipox.co.jp/ ） ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行ならびにみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

ホームページのご案内

▼Mipox株式会社ホームページ
<https://www.mipox.co.jp/>



▼IRサイト
<https://www.mipox.co.jp/ir.html>



ご意見お待ちしております

✉ mipoxir_dept@mipox.co.jp

mipox

Mipox株式会社

Mipox Corporation

〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町18
<https://www.mipox.co.jp/>

